

河川事業

Information

道路事業



国土交通省 九州地方整備局



# 大切な人とのかけがえのない暮らしを守る

九州地域は地形や気象条件などから災害のリスクが高く、普段は地域を育み、憩いやうるおいを与える河川や山地も、梅雨前線や台風による豪雨、火山噴火等により、時に猛威を振ります。その猛威から地域を守り、安全・安心な暮らしの確保のため、河川改修やダム建設、砂防堰堤の整備、海岸の保全・整備等を推進しています。

## ダム建設

立野ダムの建設など、九州地方整備局管内の6施設の建設事業等を推進するとともに、12のダムや堰の施設を管理しており、防災操作を行って洪水被害の軽減を図っています。



ななせダム(大分県大分市)

立野ダム(熊本県大津町、南阿蘇村)



防災操作中のダム  
(下笠ダム 大分県日田市、熊本県小国町)



防災操作の状況(松原ダム)

令和2年7月豪雨では松原・下笠ダムの防災操作により、約5500万 $\text{m}^3$ (福岡PayPayドーム約31杯分)の水をダムに貯めて、ダム下流地点の川の水位を約1m低下させたと推定されます。

宮崎海岸(宮崎県宮崎市)



## 海岸

宮崎海岸では、長期的な地形変化により砂浜が浸食されて人家や重要幹線道路等に影響を及ぼすおそれがあるため、関係機関と連携して波浪による侵食対策などの施設整備を推進し、海岸の保全を実施しています。



# 河川改修

筑後川や白川、川内川など九州地方整備局管内の一級水系の20水系において、堤防造成や川幅の拡幅などの河川整備を実施するとともに、維持・管理しています。

また、度重なる内水による浸水被害が発生している地域では排水機場の整備なども進め、地域の安全、安心の確保に努めています。



白川(熊本県熊本市)



平成2年7月洪水時(河川からの氾濫)



平成24年7月洪水時

熊本市街地を流れる白川では、平成2年洪水では川からの氾濫被害が発生しましたが、その後の河川改修により、同じくらいの雨が降った平成24年洪水では川からの氾濫被害を防止しました。



桜島有村砂防堰堤  
(鹿児島県鹿児島市)

# 砂防(土砂、火山)

桜島や雲仙普賢岳、阿蘇山などの6地域で、砂防施設の整備や維持・管理を行うことで、土砂災害や火山災害から地域を守っています。



赤谷川の砂防堰堤(福岡県朝倉市)

赤谷川の砂防堰堤(福岡県朝倉市)



土砂補足前

土砂補足後

令和2年7月豪雨で発生した土砂を赤谷13砂防堰堤が約1,000m<sup>3</sup>(10tダンプトラック約200台分)を捕捉して、下流への被害を防止しました。



# 豊かな自然環境を 未来へつなげる

豊かな自然環境を形成し、人々の生活の場でもある河川環境について、水辺整備や自然再生、多自然川づくりなどにより、豊かな河川環境を未来へつなげていきます。

## 水辺整備

地域振興につながるよう、観光資源等を活かした地域の取組と一体となった水辺の整備・保全を行っています。



## 地域と一緒に「創る」「使う」





# 河川景観形成

地域の暮らしや歴史・文化との調和に配慮し、  
多様な河川景観を保全・創出しています。



山国川(大分県中津市)



川内川 曾木の滝分水路(鹿児島県伊佐市)  
(2012グッドデザイン賞受賞)



球磨川八の字堰(熊本県八代市)  
(2020グッドデザイン賞受賞)

# 自然再生

地域固有の多様な生物の生息・生育・繁殖環境の保  
全・創出を図っています。

2008



事業前

遠賀川遠賀川魚道公園(福岡県遠賀郡芦屋町)  
(2013グッドデザイン賞受賞)

2014



事業後

多自然魚道

# 河川環境保全

次世代に豊かな環境を受け継いでいくため、環境学習や自然体験活動等に取り組んでいます。





# 九州をつなげる

## 道路ネットワークの機能強化

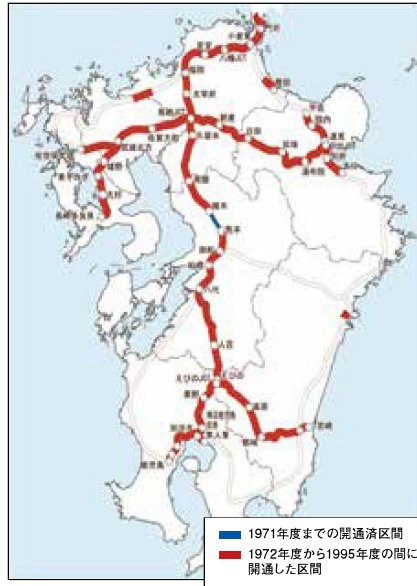
- 道路は、地域と地域、人と人をつなぎ、産業・観光の発展や、快適で安全な生活をおくるために、なくてはならないライフラインです。
- 九州においても、各県を道路ネットワークでつなぎ、地域経済の活性化や雇用の創出のみならず、災害時の迂回路としての機能形成など、円滑で安全・快適な道路交通サービスの実現を目指しています。

### 九州の高速道路整備の変遷

1971



1995



2020



### 【整備事例】東九州自動車道



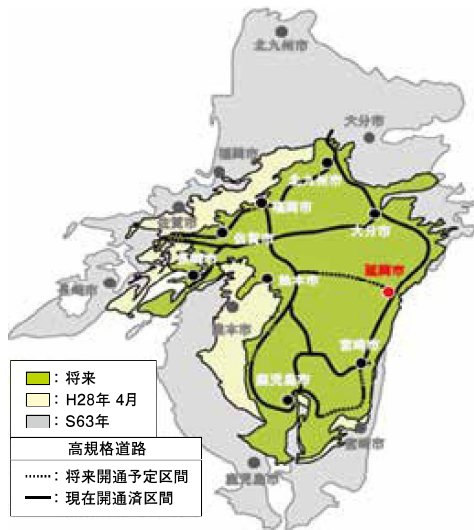
①事業前(2019年7月)



②事業中(2020年3月)

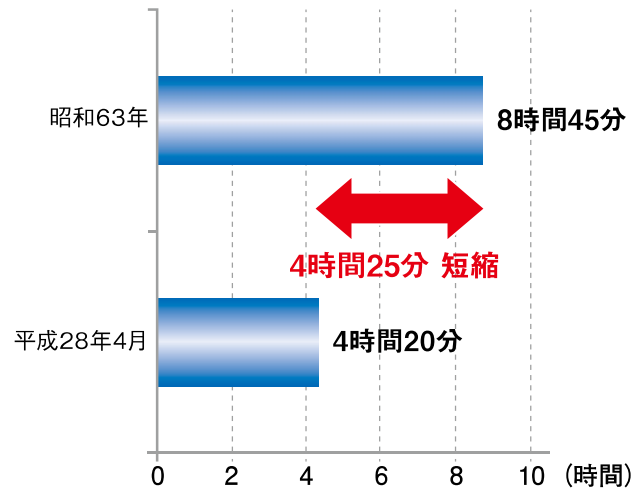


## 道路整備による時間距離の変化



### ▲ 延岡市からの時間距離の変化

※時間距離：中心都市から各都市までの距離を自動車での所要時間で表現したもの



### ▲ 北九州市～宮崎市の所要時間比較

## 九州の道路ネットワーク整備事例





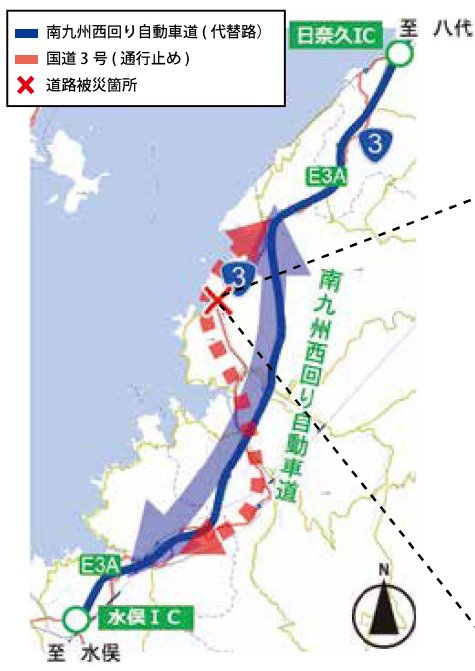
# みんなの「安全」、「快適」な通行のために

## 電線共同溝

道路の地下空間を利用して、光ファイバ、電力線等をまとめて収容することで、都市景観の向上のみならず、安全で快適な通行空間の確保、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上等を図ります。



## 道路防災



### ダブルネットワークによる交通機能の確保

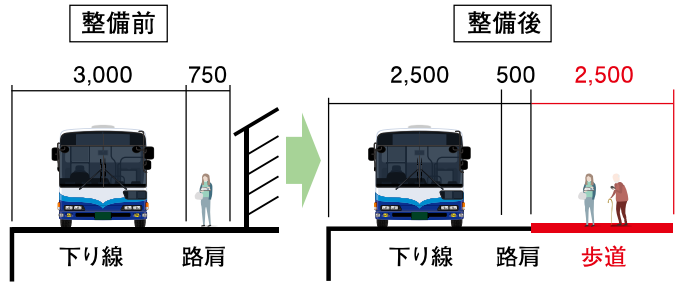
八代～水俣間では、令和2年7月豪雨時に国道3号が斜面崩落により通行止めとなったが、南九州西回り自動車道とダブルネットワークが形成されていたことから、交通機能が確保されました。





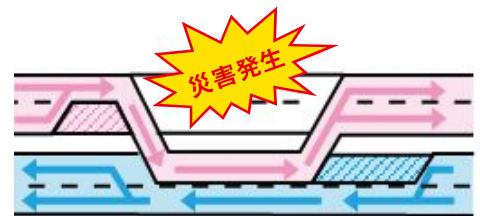
# 交通安全対策

歩行者、自転車、自動車など、道路を利用する誰もが、安全で快適に通行できる快適な道づくりのために、歩道や自転車道の整備、交差点の改良等を行っています。



## 暫定2車線区間の4車線化

斜面崩落で片側車線が閉塞しても、被害のない2車線を活用して通行できるようにします。





# あたり前の「日常」を守るために

皆さんが安心して、快適に暮らせるよう、河川や道路の点検や補修など



維持



## 河川事業



点検  
補修





の維持管理を行っています。



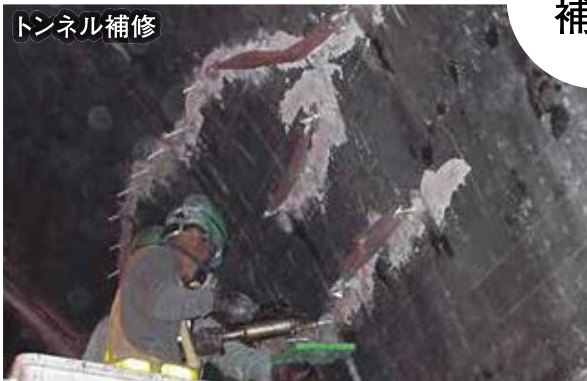
維持



道路事業



点検  
補修





# 地域の賑わいを創る

## かわまちづくり

地域の「顔」、そして「誇り」となるよう、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を地域と一緒に実施しています。



五ヶ瀬川かわまちづくり(宮崎県)



本明川かわまちづくり(長崎県)

春の流鏝馬  
100年ぶり、本明川の河川敷でやぶさめ奉納が復活。



道の駅くしま(宮崎県串間市)

## 道の駅

道の駅では、要求機能である休憩機能や情報発信機能と併せて、地域住民の繋がり、いわゆる「地域の連携機能」により、地域創生や観光を加速する拠点として賑わいが創出されています。



キャッシュレス決済  
(道の駅 じんよしとみ)



道の駅くしまの地域センター化(イメージ)



多言語対応(道の駅 阿蘇)



# 地域とつながる

## 河川協力団体

民間団体等に河川管理のパートナーとして活動してもらうことで、河川の維持・管理の充実を図ります。



河川協力団体による環境学習(高良川)



河川協力団体による安全利用講習(山国川)



宿泊施設前の広い水辺空間を使った社会実験(大淀川)

## ミズベリングプロジェクト

持続可能な水辺の未来創造にむけて、行政と民間が一体となり、水辺やその周辺地域の文化を「使いこなす」ための取組を進めています。



(大淀川)



夜の水辺空間を活かした風景(白川)



くつろぎ空間を創出する社会実験(五ヶ瀬川)

## 道守九州会議

道路は、みんなの暮らしの広場であり地域を育てるみんなの財産という認識のもと、道路の清掃・美化、標識類や危険箇所の点検など、地域住民と行政とが「協働」しながら、一人ひとりが道に対してできることをできる範囲で実践する取組が進められています。



佐賀城下ひなまつり清掃(佐賀県)



大牟田花街道プロジェクト(福岡県)



日南海岸きらめきライン



九州横断の道やまなみハイウェイ

## 日本風景街道

風景、自然、歴史、文化など、地域の魅力を「みち」でつなぎながら、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による美しい景観づくりや魅力ある地域の実現のため、清掃活動、花植え活動、観光メニューの創出などの取組が進められています。



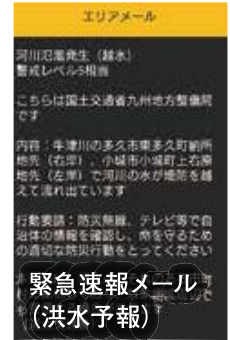
# 災害から地域や命を守る

## 情報発信

災害発生のおそれがある場合に、命を守る行動につながるため、気象台と合同で記者会見を開催。洪水予報などの緊急情報についてはエリアメールなどによる携帯端末への情報発信も実施。



気象台との合同記者会見(令和2年7月)



緊急速報メール  
(洪水予報)



道路状況の一括監視



豪雪による通行障害(国道210号)

## 情報収集、状況監視

九州各地に設置した監視カメラの映像で自然災害時の状況を監視。

大雨時の河川状況や豪雪時の道路状況の把握により、迅速な情報発信や道路の通行止めなどの対応を実施。

## 災害調査

災害発生時には、防災ヘリ「はるかぜ号」やドローンなどを利用して、上空からの被災調査を実施。

調査内容はリアルタイムで防災対策本部や関係者で共有し、その後の迅速かつ的確な災害対応につなげる。



防災ヘリコプターによる上空調査



ドローンによる災害調査



河川堤防(熊本県人吉市)



西瀬橋(熊本県人吉市)

## 緊急災害復旧

災害により損傷した堤防や橋梁といった住民の生活にかかせない構造物について緊急復旧を実施。

迅速な復旧を行うことで、その後の早期の生活再建や復興につなげる。



# 1日も早い復旧・復興を 目指して



当たり前の日常を取り戻す

## 平成28年 熊本地震



熊本県が管理する国道325号阿蘇大橋。厳しい現場条件の中、復旧には高度な技術が必要であったため、熊本県知事の要請を受け国が権限代行で復旧工事を進めた。

被災から4年11ヶ月の令和3年3月に開通させた。

## 平成29年 九州北部豪雨



福岡県が管理する河川では、大量の土砂や流木が流出し、河道閉塞や家屋の倒壊など甚大な被害が発生。

福岡県知事の要請を受け、河川の権限代行制度としては全国で初めて赤谷川流域で適用し、国が土砂や流木の撤去、河川の災害復旧工事を代行。

## 全国初 河川復旧を国が代行



## 災害からの復旧を加速



## 令和2年 令和2年7月豪雨

梅雨前線が九州付近に停滞し、球磨川流域では複数の雨量観測所で観測史上最多雨量を観測。

球磨川の水位上昇に伴い堤防の決壊が2カ所で発生。24時間体制で緊急復旧工事を実施し、2日程度で完了させた。



河川事業  
&  
道路事業

River business  
& Road business

# TEC-FORCE

## (緊急災害対策派遣隊)

大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被害の発生及び拡大防止など被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施。

### 平成28年 熊本地震

阿蘇大橋地区(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)



### 平成29年 九州北部豪雨

奈良ヶ谷川(福岡県朝倉市)



### 令和元年 8月豪雨

六角川(佐賀県大町町)



### 令和2年 7月豪雨

球磨川(熊本県球磨郡球磨村)



# 最先端技術で働き方を 変革し暮らしを豊かに

## インフラ分野の DXの推進

データとデジタル技術を活用し、建設業や職員の働き方を変革することで、安全・安心で豊かな生活を実現するためDXの推進に取り組んでいます。

※DX(デジタル・トランスフォーメーション):進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること



職員の人材育成



現場のリモート会議



VRを活用した説明会



三次モデル



HMD  
(ヘッドマウントディスプレイ)

## 三次元データの活用

二次元の図面では分かりにくく、確認や表現をしにくかった部分を三次元データやVR(バーチャルリアリティ)の技術を活用して、詳細部分の確認や完成イメージを「見える化」することで、より分かりやすく、理解しやすくなります。



## i-Constructionの推進

ICT施工は、建設工事において測量、設計、施工などの各段階で3次元データを使うことにより、施工の飛躍的な効率化が可能になります。3次元の設計データを建設機械に取り込むことで、半自動的に操作することが可能となり、経験が少ないオペレーターでも容易に精度の高い施工が可能となります。



3次元設計データを建設機械に取り込み  
目印(丁張り)無しで施工可能



操作員は運転席モニターを確認



UAVを活用した施設管理



職員によるUAV操作

## 小型無人機 Blue Hawks (ドローン)の活用

九州地方整備局が保有するUAV(ドローン)航空「BlueHawks」などの活躍により、上空からの映像を活用した分かりやすい事業の紹介を行ったり、施設状況の把握により、安全・安心な暮らしを支えます。



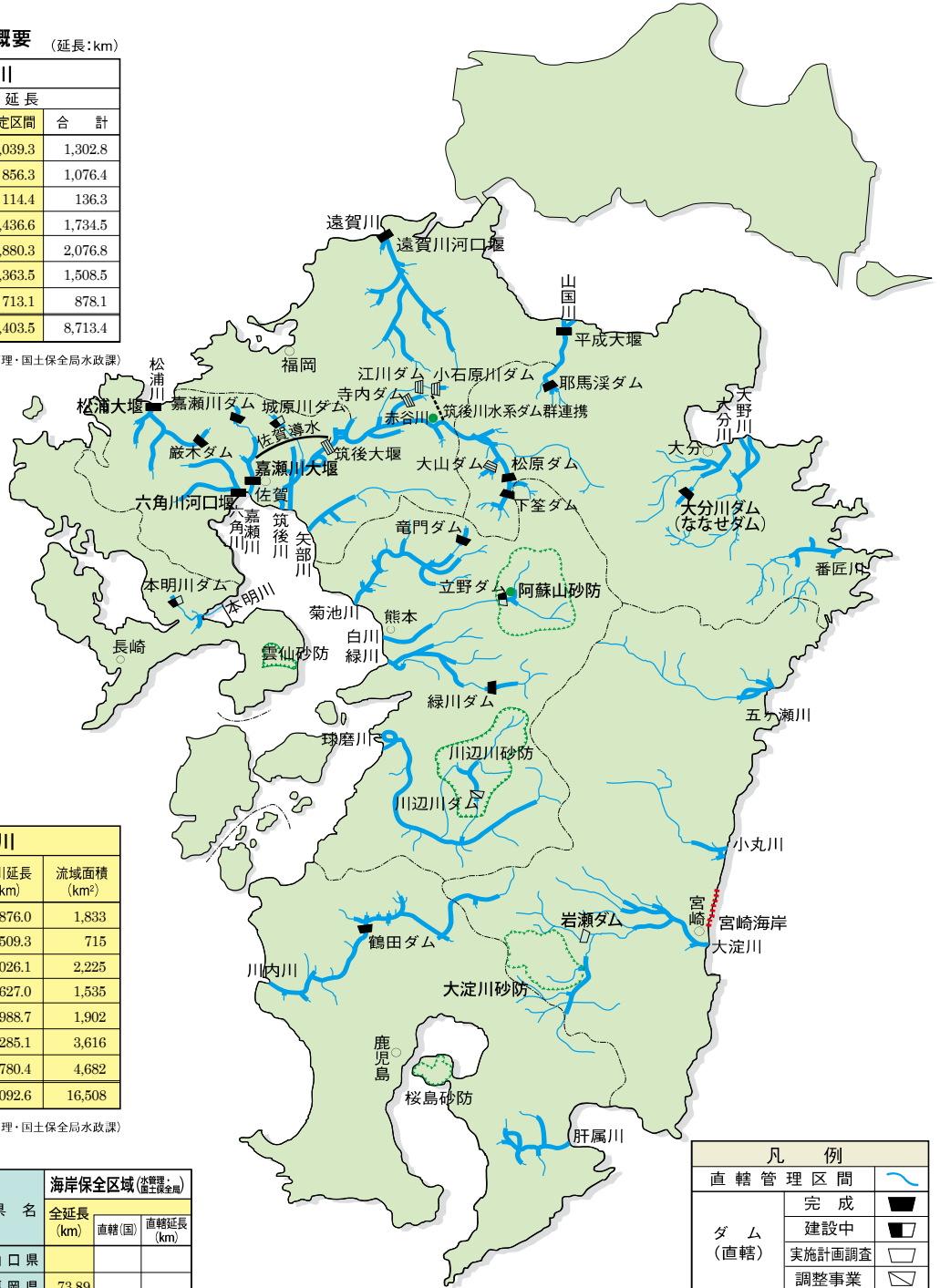
# 管内関係位置図

## 河川位置図

九州地方における県別所管概要 (延長: km)

県名	一級河川			
	関係水系数	河川延長		
		指定区間外	指定区間	合計
福岡県	3	263.5	1,039.3	1,302.8
佐賀県	3	220.1	856.3	1,076.4
長崎県	1	21.9	114.4	136.3
熊本県	4	297.9	1,436.6	1,734.5
大分県	4	196.5	1,880.3	2,076.8
宮崎県	3	145.0	1,363.5	1,508.5
鹿児島県	2	165.0	713.1	878.1
合計	20水系	1,309.9	7,403.5	8,713.4

出典: 令和2年度河川管理統計 (国土交通省水管理・国土保全局水政課)



県名	二級河川			
	水系数	河川数	河川延長 (km)	流域面積 (km <sup>2</sup> )
福岡県	52	149	876.0	1,833
佐賀県	60	174	509.3	715
長崎県	210	341	1,026.1	2,225
熊本県	81	148	627.0	1,535
大分県	93	211	988.7	1,902
宮崎県	53	239	1,285.1	3,616
鹿児島県	160	310	1,780.4	4,682
合計	709	1,572	7,092.6	16,508

出典: 令和2年度河川管理統計 (国土交通省水管理・国土保全局水政課)

県名	砂防指定地		県名	海岸保全区域 (国土保全面積)	
	直轄(国)	補助面積 (ha)		全延長 (km)	直轄延長 (km)
福岡県	筑後川(赤谷川)	82.15	山口県		
佐賀県		1,731.02	福岡県	73.89	
長崎県	雲仙	3,575.09	佐賀県	15.20	
熊本県	球磨川	853.39	長崎県	327.16	
	阿蘇山	74.26	熊本県	126.86	
大分県		9,284.02	大分県	55.11	
宮崎県	大淀川	164.04	宮崎県	29.25	宮崎海岸 6.86
鹿児島県	桜島	1,003.37	鹿児島県	192.28	
合計		44,196.67	合計	819.75	6.86

出典: 砂防指定地: 直轄 砂防指定地面積調査(令和4年1月末時点)

補助 砂防便覧平成26年度版

※指定区間外: 国が管理する区間

※ [黄色]: 地方公共団体が管理する区間

凡例	
直轄管理区間	
ダム (直轄)	完成
	建設中
	実施計画調査
ダム(水機構)	調整事業
	完成
	完成
導水路	完成
	実施計画調査
直轄海岸事業区域	
直轄砂防事業区域	
直轄特定緊急砂防事業箇所	



# 道路位置図

## 災害に強い国土幹線道路ネットワーク図 (高規格道路)

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)、その他計画段階評価等調査が進捗している路線をベースに選定。



凡 例	
供用中	<span style="color: blue;">——</span>
事業中	<span style="color: blue;">- - - - -</span>
調査中	<span style="color: blue;">⋯⋯⋯</span>

### 道路の管理延長(道路種類別)

道路区分	全国	九州	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	北九州市	福岡市	熊本市	
	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	実延長(km)	
高速自動車国道	9,050	991	153	78	46	123	191	202	123	49	2	24	
国道	指定区間	23,897	2,399	401	239	217	257	350	308	444	40	78	66
	指定区間外	31,928	5,211	524	391	775	892	704	871	856	125	34	37
県道	主要地方道	57,891	7,764	1,404	549	829	1,057	986	972	1,614	153	92	108
	一般県道	71,866	9,730	1,612	717	837	1,586	1,543	1,047	1,924	98	149	216
市町村道	1,032,790	133,398	25,510	9,064	15,373	18,443	14,822	16,811	22,463	3,887	3,621	3,403	
合計	1,227,422	159,492	29,605	11,038	18,077	22,358	18,596	20,212	27,424	4,352	3,975	3,854	

※延長は、2021年版道路統計年報による  
※指定区間外一般国道のうち、都道府県及び政令市が担当する区間





## 組織構成

### 国土交通省

### 九州地方整備局

防災室・災害対策マネジメント室

総務部

企画部

建政部

河川部

道路部

港湾空港部

営繕部

用地部

事務所・管理所(45)

### 河川・道路関係事務所 (9箇所)

- ① 長崎河川国道事務所
- ② 熊本河川国道事務所
- ③ 八代河川国道事務所
- ④ 八代復興事務所
- ⑤ 大分河川国道事務所
- ⑥ 佐伯河川国道事務所
- ⑦ 宮崎河川国道事務所
- ⑧ 延岡河川国道事務所
- ⑨ 大隅河川国道事務所

### 河川関係事務所 (13箇所)

- ⑩ 筑後川河川事務所
- ⑪ 遠賀川河川事務所
- ⑫ 武雄河川事務所
- ⑬ 佐賀河川事務所
- ⑭ 菊池川河川事務
- ⑮ 川辺川ダム砂防事務所

- ⑯ 阿蘇砂防事務所
- ⑰ 立野ダム工事事務所
- ⑱ 山国川河川事務所
- ⑲ 川内川河川事務所
- ⑳ 筑後川ダム統合管理事務所
- ㉑ 緑川ダム管理所
- ㉒ 鶴田ダム管理所

### 道路関係事務所 (6箇所)

- ㉓ 福岡国道事務所
- ㉔ 北九州国道事務所
- ㉕ 有明海沿岸国道事務所
- ㉖ 佐賀国道事務所
- ㉗ 鹿児島国道事務所
- ㉘ 九州道路メンテナンスセンター

### 港湾空港関係事務所 (13箇所)

- ㉙ 下関港湾事務所
- ㉚ 北九州港湾・空港整備事務所
- ㉛ 博多港湾・空港整備事務所

- ㉜ 苅田港湾事務所
- ㉝ 唐津港湾事務所
- ㉞ 長崎港湾・空港整備事務所
- ㉟ 熊本港湾・空港整備事務所
- ㊱ 別府港湾・空港整備事務所
- ㊲ 宮崎港湾・空港整備事務所
- ㊳ 鹿児島港湾・空港整備事務所
- ㊴ 志布志港湾事務所
- ㊵ 関門航路事務所
- ㊶ 下関港湾空港技術調査事務所

### 営繕関係事務所 (2箇所)

- ㊷ 熊本営繕事務所
- ㊸ 鹿児島営繕事務所

### 公園関係事務所 (1箇所)

- ㊹ 国営海の中道海浜公園事務所

### 技術事務所 (1箇所)

- ㊺ 九州技術事務所

## 国土交通省 九州地方整備局

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号  
福岡第二合同庁舎 電話 092-471-6331(代表)

ホームページアドレス

<http://www.qsr.mlit.go.jp/>

Instagram



九州地方整備局  
Facebook



九州地方整備局  
Twitter



九州地方整備局  
Twitter 採用情報



YouTube

